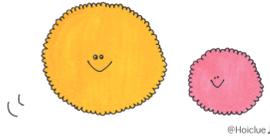


「ふわふわ言葉」と「チクチク言葉」

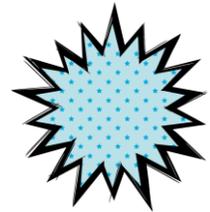
平成 29 年 12 月
立川女子高等学校
カウンセラーだより裏

ここ数年、『「ふわふわ言葉」と「チクチク言葉」』という授業をする小学校が増えています。主に、低学年の1年生と2年生の道徳の授業などで行われることが多いようです。



「ふわふわ言葉」とは、例えば「ありがとう」、「ごめんね」や「すごいね」、「かわいいね」、または「大好きだよ」とか「楽しいね」、「よく頑張ったね」など、言われると気持ちがふわふわして嬉しくなる言葉のことです。頑張っている時やつらい時に、「ふわふわ言葉」を聞くと励まされます。言われた方は気持ちが楽になり、勇気もわき、自己肯定感もあがります。自分自身に「ふわふわ言葉」を言ってあげると、自分自身の自己肯定感をあげることも出来ます。

これに対して「チクチク言葉」は「バカ」、「死ね」、「キモい」、「ウザい」や「そんなことも知らないの?」、「一緒に遊んであげない」、「あっちへ行け」など、言われると悲しくて、心が傷つく言葉のことです。「だから言ったでしょ!」とか「なんで出来ないの?」、「ダメって言うてでしょ!」なども、相手を傷つけてしまいますから「チクチク言葉」に入ります。



「ふわふわ言葉」を話す時は、相手のことを思いやっています。どんな「ふわふわ言葉」をかければ相手の気持ちが楽になるか、勇気が出るか、励ましてあげることが出来るかを考えて話をしています。これに対して「チクチク言葉」を言う時は、相手の気持ちや心の痛みを全く考えていません。その時に自分が感じた、いらだちや不快な気持ちを、そのまま相手に伝えてしまうので、相手が傷ついてしまいます。



たった一つの「ふわふわ言葉」が、相手に大きな勇気を生み出すことがあります。逆についてしまった「チクチク言葉」が、相手の心に大きな傷をつけてしまうこともあります。言葉は私たちが思っている以上に大きな力を持っているようです。だからこそ「チクチク言葉」を人に投げつけないように注意が必要です。

「チクチク言葉」を使わないようにすると同時に、なるべく相手に「ふわふわ言葉」を投げかけてあげるようにすると、相手を思いやる気持ちが育ちますし、次第に人とのコミュニケーションが上手になると思います。お友達とも今以上に仲良くなれると思います。